

幼児の遊びと保育計画 (1)



飯 沼 て る

成遊戯として効果的な粘土は、約一里程ある川へ職員が採取に行きそれを使わせたりしております。何しろ一部屋六十余人もいたり、二百七十名ばかりの幼児が遊ぶ庭にしては、あまり狭かつたりして、子供たちも、自由遊びを充分に楽しむ訳にはいかないかと思います。私の記録もこの条件の下に観察したのでござりますから、随分無理があると思います。

をさせる為には、遊び場所と設備、遊具、の必要が考えられます。

「幼児の生活のすべては遊びである」と言われていますが、幼児が指導者の拘束を受けています。

私の幼稚園では、満四才児と五才児でありますから、この時代の旺盛な遊びと言われてゐる。運動遊戯、構成遊戯、想像模倣遊戯、受容遊戯等を、充分楽ししませてやりたいと、子供達の幸福の為に、「環境の設備」には憧れを抱いております。でもこの与えられた環境や教師にあつて出来るだけそれを生かし、工夫と努力によって効果をあげる様つとめております。一例をあげますと、粗材玩具の積木は、下駄工場へ屑木をもらいに行き色塗りして使わせ、木の空箱を自動車にしたてたがよく現れて、その場での適切な指導が教育効果を大ならしめることは申すまでもございません。先ず、子供達に充分「楽しい遊び」

(2)

四月お母様の膝許を離れて始めて、幼稚園といふ、集団生活に入つて来る幼児達を出来るだけ家庭的な雰囲気で生活させたく、お部屋の遊具も「積木」「お人形さん」「ままごと道具」「おもちゃやの動物」(これも端布の手製)「絵本」「汽車」「自動車」「輪投げ」等備えて、自由遊びを楽しめるようにしておきました。

この遊具を通しての自由遊びをみると、男児は積木、自動車、汽車、女児は人形、まごと道具の遊びが目立ち、絵本も喜ばれます。積木は一人で次々に重ねて高く積み上げて、模倣遊具のお人形さんはお母様方にお願いされると又積む。お人形はただまつて私どもとて端布で作つたり、ままごとをしている。まごとは一人一人が草花を引き出したり、自動車や汽車を氣の強い子がガ

ラ／＼押す。私が話しかけても口を開かない男の児が象やキリンのおもちゃを抱いて何時までも何時までも立っていたのが印象的です。

然し雨の日以外はつとめて外遊びを奨励しました。ブランコ、遊動木、お滑台は男女をとわざ大変な人気で奪い合いの処置に苦しみました。でもそれ等の子はある程度幼稚園生活に安定感を持つてゐる児で、不安定な子は泣いてお家の人がから離れない児、指やエプロンの端をかちつてほんやり立っています。

そんな児も誘えばほとんどの児が、「かごめかごめ」、「開いたつぱんだ」「さくらさくら」等して嬉しそうにして遊びました。

鐵棒には女児が多く、子供達の好きな砂場、雨水が溜り砂が流れてしまい固くなり、鍛

で耕うと、吃度満員になります。この遊びには男児の方が多く参加しておきました。一人一人の創作表現が多く、グループで遊んでいるのは二年保育の年長児でした。主に山とか川海に舟など創られていました。

遊びの継続時間は指導者の入っている遊びが一層長く興味も高い様でした。指導者が入らなくとも比較的長く続ければ遊びは男児の「砂場遊び」女児の「鉄棒」でした。これは男児の創作力の旺盛なことを示しております。

男の児が象やキリンのおもちゃを抱いて何時までも何時までも立っていたのが印象的です。然し雨の日以外はつとめて外遊びを奨励しました。ブランコ、遊動木、お滑台は男女をとわざ大変な人気で奪い合いの処置に苦しみました。でもそれ等の子はある程度幼稚園生活に安定感を持つてゐる児で、不安定な子は泣いてお家の人がから離れない児、指やエプロンの端をかちつてほんやり立っています。

そんな児も誘えばほとんどの児が、「かごめかごめ」、「開いたつぱんだ」「さくらさくら」等して嬉しそうにして遊びました。

鐵棒には女児が多く、子供達の好きな砂場、雨水が溜り砂が流れてしまい固くなり、鍛で耕うと、吃度満員になります。この遊びには男児の方が多く参加しておきました。一人一人の創作表現が多く、グループで遊んでいるのは二年保育の年長児でした。主に山とか川海に舟など創られていました。

遊びが多くなり、六月の単元の中の時計製五ヶ月も四月とほど同じ様な遊びが繰り返されましたが、男児の運動遊びが目立つて活潑になつてきました。何處からか棒切れを探し出し戦い合い、木登り、壇上り、門の扉につかまつて開いたり閉ぢたり、止めても止めては泣いてお家の人がから離れない児、指やエプロンの端をかちつてほんやり立っています。

そんな児も誘えばほとんどの児が、「かごめかごめ」、「開いたつぱんだ」「さくらさくら」等して嬉しそうにして遊びました。

鐵棒には女児が多く、子供達の好きな砂場、雨水が溜り砂が流れてしまい固くなり、鍛で耕うと、吃度満員になります。この遊びには男児の方が多く参加しておきました。一人一人の創作表現が多く、グループで遊んでいるのは二年保育の年長児でした。主に山とか川海に舟など創られていました。

遊びの継続時間は指導者の入っている遊びが一層長く興味も高い様でした。指導者が入らなくとも比較的長く続ければ遊びは男児の「砂場遊び」女児の「鉄棒」でした。これは男児の創作力の旺盛なことを示しております。

遊びが多くなり、六月の単元の中の時計製五ヶ月も四月とほど同じ様な遊びが繰り返されましたが、男児の運動遊びが目立つて活潑になつてきました。何處からか棒切れを探し出し戦い合い、木登り、壇上り、門の扉につかまつて開いたり閉ぢたり、止めても止めては泣いてお家の人がから離れない児、指やエプロンの端をかちつてほんやり立っています。

そんな児も誘えばほとんどの児が、「かごめかごめ」、「開いたつぱんだ」「さくらさくら」等して嬉しそうにして遊びました。

遊びが多くなり、六月の単元の中の時計製五ヶ月も四月とほど同じ様な遊びが繰り返されましたが、男児の運動遊びが目立つて活潑になつてきました。何處からか棒切れを探し出し戦い合い、木登り、壇上り、門の扉につかまつて開いたり閉ぢたり、止めても止めては泣いてお家の人がから離れない児、指やエプロンの端をかちつてほんやり立っています。

遊びが多くなり、六月の単元の中の時計製五ヶ月も四月とほど同じ様な遊びが繰り返されましたが、男児の運動遊びが目立つて活潑になつてきました。何處からか棒切れを探し出し戦い合い、木登り、壇上り、門の扉につかまつて開いたり閉ぢたり、止めても止めては泣いてお家の人がから離れない児、指やエプロンの端をかちつてほんやり立っています。

遊びが多くなり、六月の単元の中の時計製五ヶ月も四月とほど同じ様な遊びが繰り返されましたが、男児の運動遊びが目立つて活潑になつてきました。何處からか棒切れを探し出し戦い合い、木登り、壇上り、門の扉につかまつて開いたり閉ぢたり、止めても止めては泣いてお家の人がから離れない児、指やエプロンの端をかちつてほんやり立っています。

遊びが多くなり、六月の単元の中の時計製五ヶ月も四月とほど同じ様な遊びが繰り返されましたが、男児の運動遊びが目立つて活潑になつてきました。何處からか棒切れを探し出し戦い合い、木登り、壇上り、門の扉につかまつて開いたり閉ぢたり、止めても止めては泣いてお家の人がから離れない児、指やエプロンの端をかちつてほんやり立っています。

遊びが多くなり、六月の単元の中の時計製五ヶ月も四月とほど同じ様な遊びが繰り返されましたが、男児の運動遊びが目立つて活潑になつてきました。何處からか棒切れを探し出し戦い合い、木登り、壇上り、門の扉につかまつて開いたり閉ぢたり、止めても止めては泣いてお家の人がから離れない児、指やエプロンの端をかちつてほんやり立っています。